

ディーラーの独り言（2018年1月17日）

◆本日の予想レンジ

ドル円 110.00～111.00

ユーロドル 1.2200～1.2390

昨日の NY 市場の中盤までは米主要企業決算など企業業績の改善期待を背景に NY ダウは一時 282ドル高と 7 日間で 1,000ドル超も上昇するなど、ドル買いが優勢になる場面が見られた。さらにユーロは社会民主党が連立合意に難色を示したほか、来週の ECB 理事会でのファワードガイダンス変更期待が後退したことで 1.22ドル台半ばから 1.2196ドルへ反落。仏中銀総裁によるユーロ高牽制とも受け止められる発言が聞かれたこともユーロ売りに反応したようだ。しかし、NY ダウが急ピッチな上昇に対する警戒感から一時 100ドル安まで反落したほか、19日に期限を迎える暫定予算の延長期限を危ぶむ声でドル売りに反応したことから、受け皿として再度ユーロは 1.22ドル台後半へ反発するなど、総じて堅調さを取り戻し、1.2260ドルで NY 市場の取引を終えた。もっともドイツの大連立も正式に合意したわけではなく、21日に開催される社会民主党 (SPD) の党大会の行方やその後の党員投票の結果を見極める必要があるだろう。それでもユーロ圏の 2017 年の EU 基準消費者物価指数 (HICP) は前年比+1.7%の上昇となり、上昇率は 2012 年以降で最大となるなど、強気に向かう支援材料もある。依然として思惑によるユーロ買いが入りやすいことを考えれば、昨日のように下げたところでの押し目買いは有効だ。1.2230ドル割れでロングにし、1.2380ドル超えを利食い水準として勝負したい。日本時間 19 時のユーロ圏 12 月消費者物価指数・確報値の発表のほか、要人発言には引き続き注意が必要かもしれない。一方、ドル円は 111 円台回復に手が届かず改めて上値の重さを確認。19 日の日銀の超長期債に対する公開市場操作や来週 22-23 日の日銀政策決定会合を見極めるまでは積極的な円売りには向かいづらい状況といったところだろう。また、19 日の米暫定予算の延長期限もトランプ大統領の問題発言も影響して危ぶまれており、VIX 指数も上昇している。それだけに目先は 110 円 80-85 銭超えではドル売り、110 円 20-30 銭割れでドル買い、それぞれ 111 円 10 銭と 109 円 90 銭にストップ・ロスを置いたトレードに徹したいところだ。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。